

2004年韓国スタディーツアー

八月十一日より十六日にかけてコリアNGOセンターが主催して、「二〇〇四韓国スタディーツアー」が開催された。このツアーは在日韓国民主人・協議会が一九九八年から実施しているもので、今年で六回目を迎える。

十二名が参加した今年のツアーは「東アジア市民としての気づき」をテーマに開催した。ソウルに到着した八月十一日にはホテル到着後に明洞に移動し、ホームステイの受け入れなどで協力してくれるハンシン大学日本学科の学生たちも参加して全体での夕食、オリエンテーションをおこなった。最初は参加者と韓国の学生達も緊張した面もちであったが、ホストをしてくれる学生をそれぞれ紹介し、食事が進むに連れて和気藹々とした雰囲気のなかでのツアーの出発になった。

八月十二日には独立門や西大門刑務所跡記念館、パゴダ公園、景福宮などを訪問し、過去の日本帝国主義によって植民地にされた朝鮮侵略の歴史を学び、夜には貞洞劇場での韓国伝統文化公演を楽しんだ。

八月十三日は、自由行動日で午前中からハンシン大学の学生たちとそれぞれ合流し、ソウル市内見学や水原の観光など思い思いのひとときを過ごし、その夜は各自それぞれホームステイで韓国の人たちとの交流を深めた。

翌八月十四日にはナムの家を訪問し、日本軍元「慰安婦」記念館を見学した後、キムグンジャハルモニからの証言を伺った。ハルモニは、「こうやって遠いところまで話を聞きに来てくれて・りがとう」と、自分が「慰安婦」にされた過去や、戦争が終わってからもつらい過去を背負って生きてきた歴史をとうとうと語られた。

八月十五日の解放記念日には、オドゥサン統一展望台、臨津閣を訪問し、朝鮮半島がいまも南北に分断されていることに思いをはせた。

今回のツアーを終えて、参加者からも「貴重な体験をすることができた」「楽しい経験でした」「たくさんの新しい発見があった」などの感想が聞かれた。